



2020年3月期
第2四半期累計期間
(2019年4月1日～2019年9月30日)
決算説明資料

2019年10月31日
ディービーエックス株式会社
証券コード：3079

1. 当第2四半期（累計期間）の決算概況 P3

2. 業績予想 P14

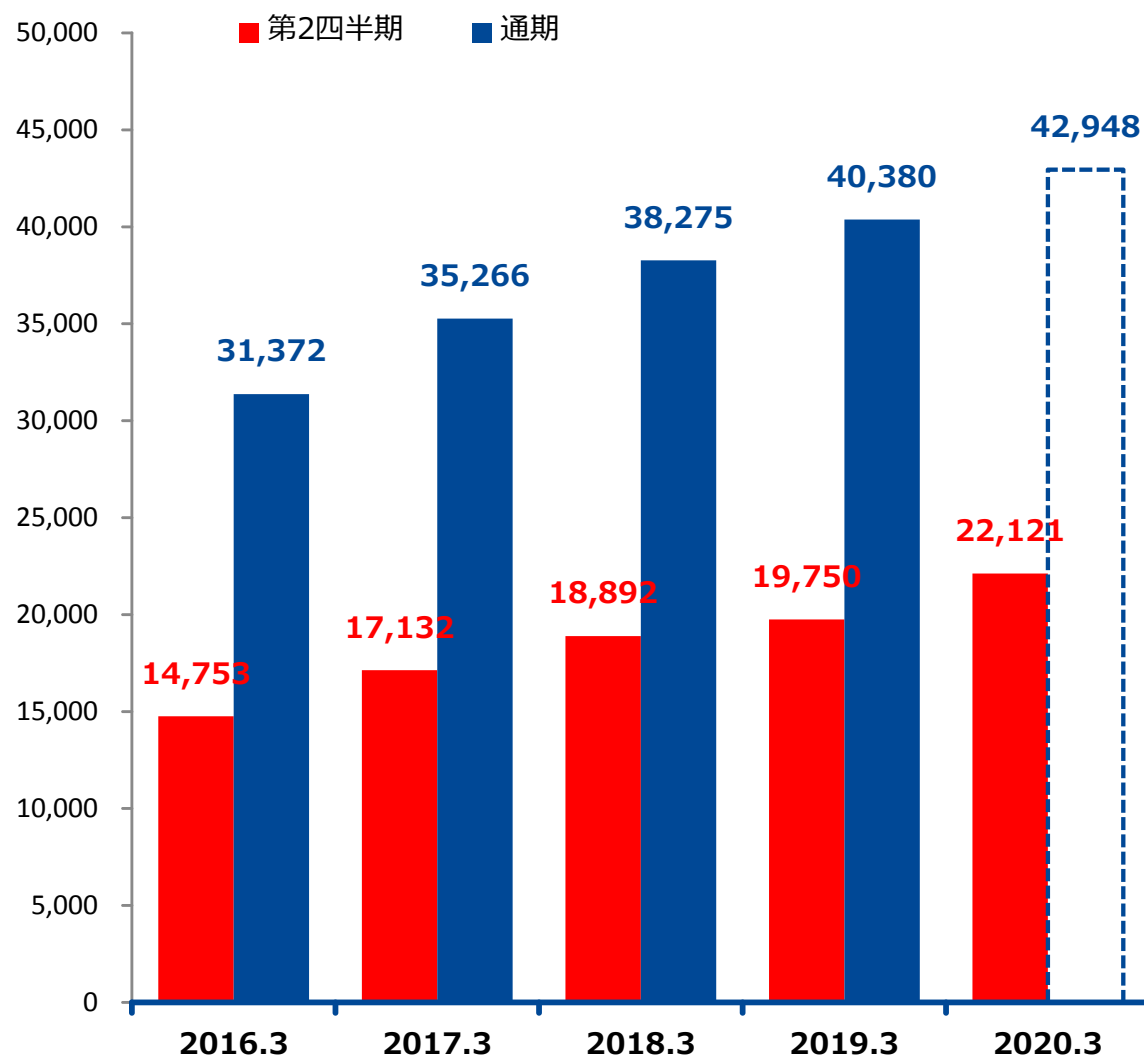
1. 当第2四半期（累計期間）の決算概況

要約損益計算書 (第2四半期累計期間)

	実績 (百万円)	対売上高 (%)	前年同期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	22,121	100.0	19,750	+12.0
売上総利益	2,624	11.9	2,568	+2.2
販管費	2,177	9.8	2,088	+4.3
営業利益	446	2.0	480	△7.1
経常利益	453	2.1	493	△8.1
四半期純利益	314	1.4	388	△19.2

売上高

(単位：百万円)



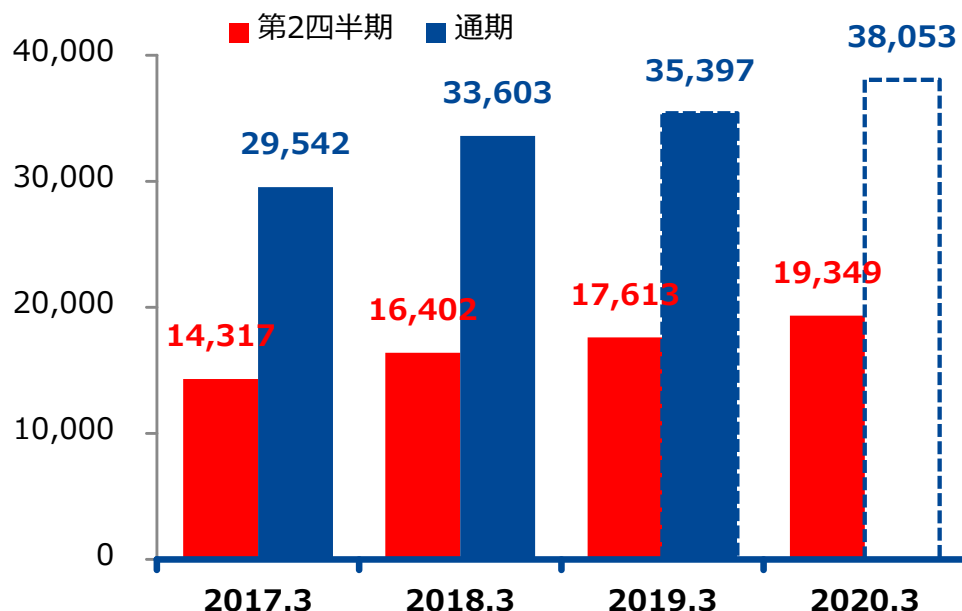
前年同期比**12.0%増**の
221.2億円

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	19,349	+9.9
虚血	1,903	+24.5
その他	867	+42.8
合計	22,121	+12.0

事業別売上高

不整脈事業

(単位：百万円)



売上高**193.4億円**

(前年同期比**9.9%増**)

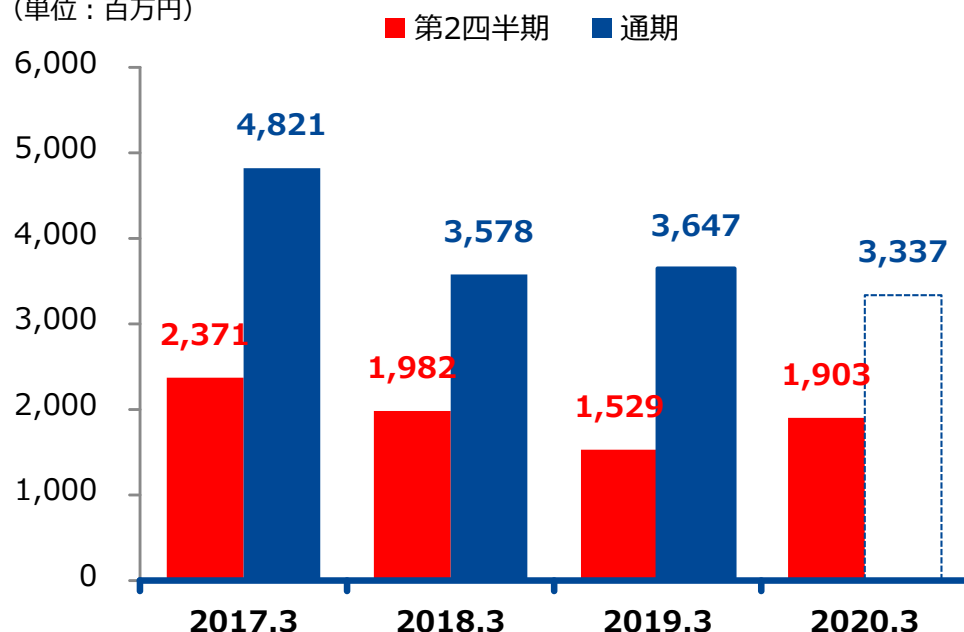
- ✓ 主力商品の販売数量増加
- ✓ 大型施設の獲得

	実績 (百万円)	前年同期 実績 (百万円)	増減率 (%)
PM	1,791	1,761	+1.7
ICD	1,171	1,123	+4.3
CRT-D	946	725	+30.5
電極カテーテル	5,301	4,742	+11.8
心腔内エコーカテ	2,029	1,734	+17.0
ABL機能付	2,930	2,073	+41.3
ABLカテーテル	469	738	△36.5
冷凍ABLカテ	1,023	1,044	△2.0
その他	3,687	3,669	+0.5
合計	19,349	17,613	+9.9

事業別売上高

虚血事業

(単位：百万円)



売上高**19.0億円**

(前年同期比**24.5%増**)

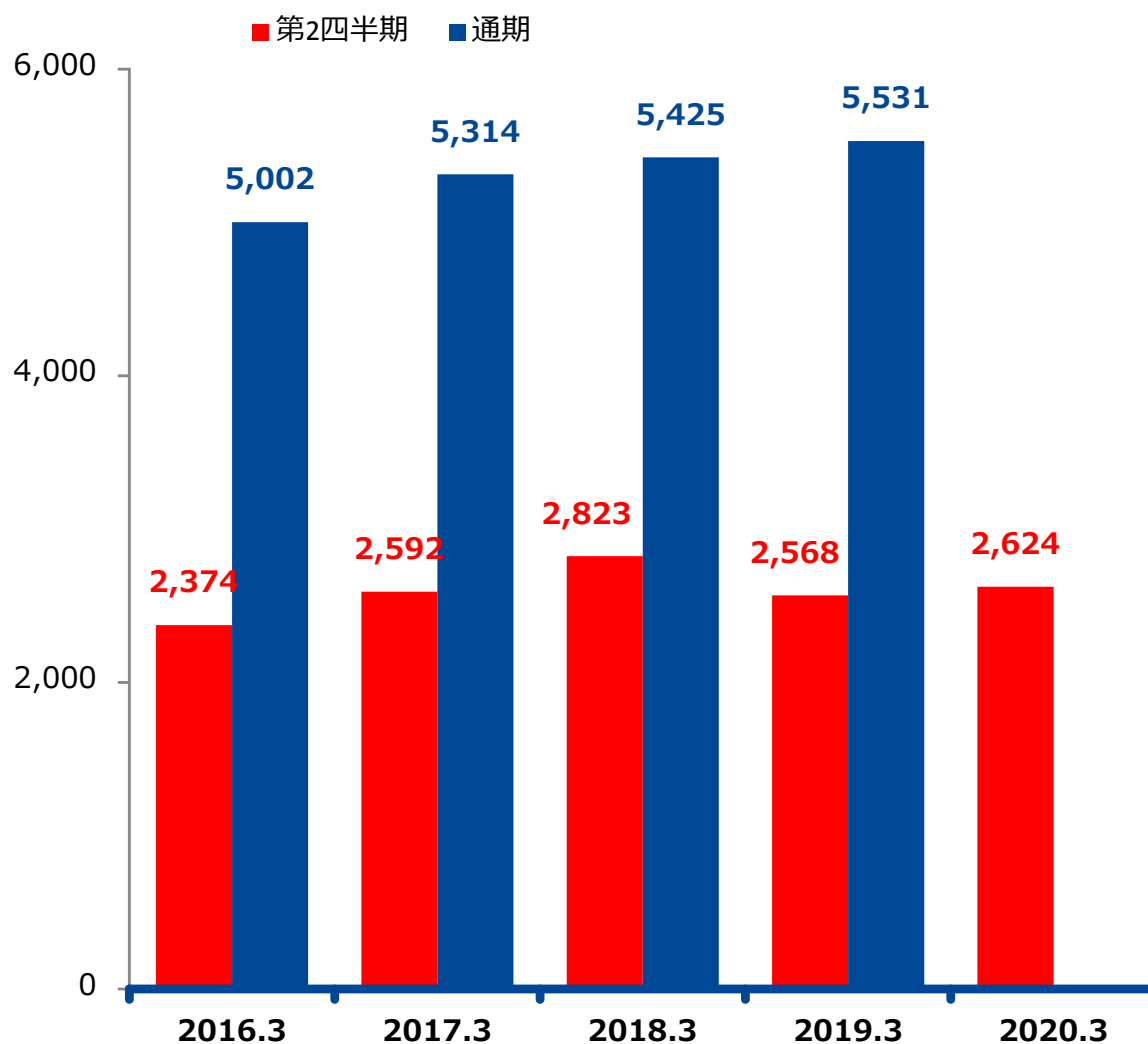
- ✓ 販売代理店業虚血関連商品の販売が増加
- ✓ エキシマレーザ血管形成システムの販売が堅調

(単位：百万円)

	ACIST	SPNC	左記以外
2016年上期	908	618	844
下期	965	597	886
2017年上期	593	477	911
下期	0	633	962
2018年上期	75	597	857
下期	－	1,014	1,103
2019年上期	－	612	1,291

売上総利益

(単位：百万円)



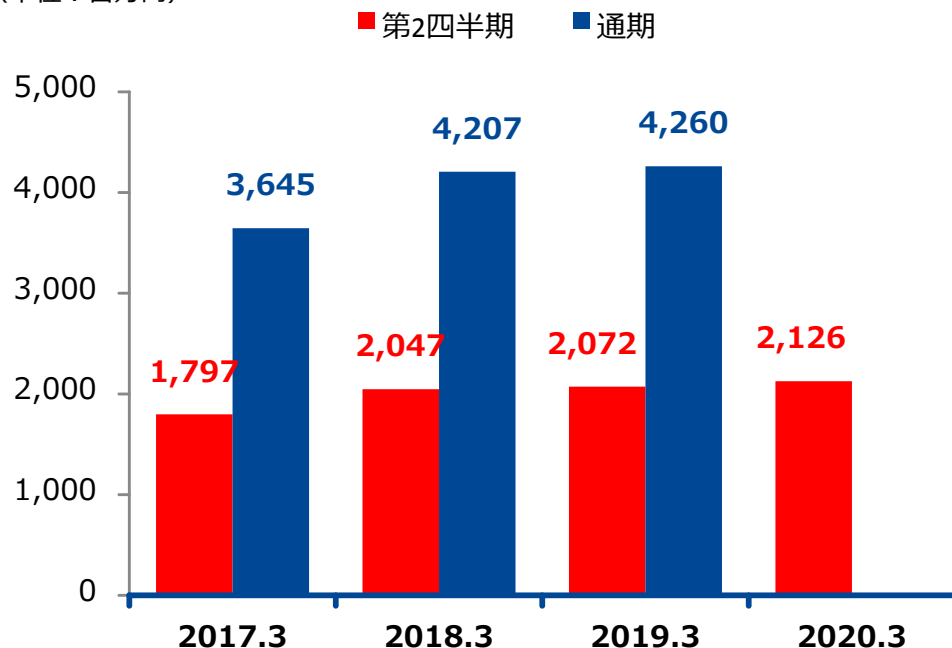
前年同期比**2.2%増**の
26.2億円

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	2,126	+2.6
虚血	369	△8.6
その他	127	+39.1
合計	2,624	+2.2

事業別売上総利益

不整脈事業

(単位：百万円)



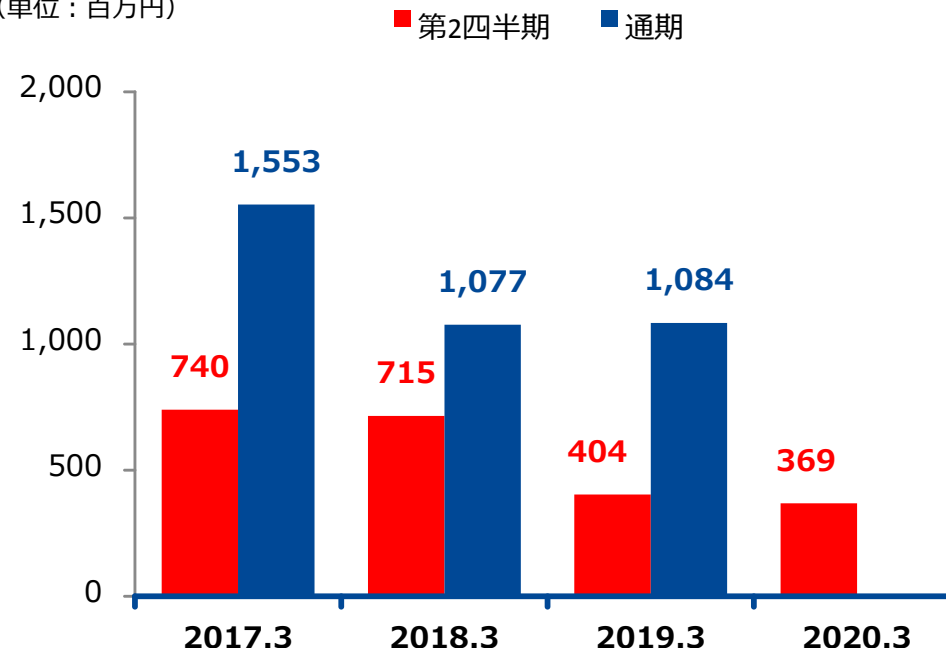
セグメント利益21.2億円

(前年同期比2.6%増)

- ✓ 粗利益率11.0% (前年同期11.8%)
- ✓ 医療機関からの値下げ要請→価格低下→粗利益率低下

虚血事業

(単位：百万円)



セグメント利益3.6億円

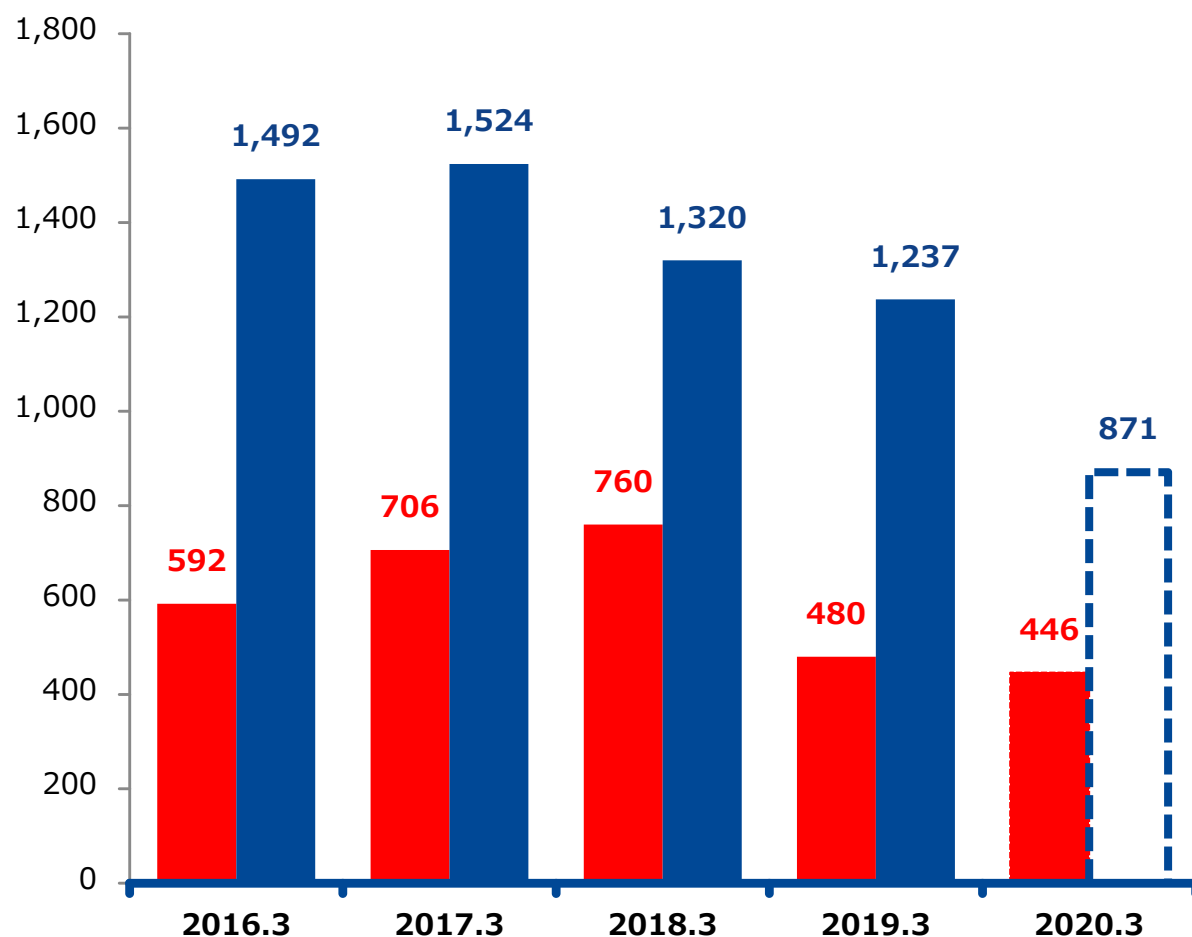
(前年同期比8.6%減)

- ✓ 粗利益率19.4% (前年同期26.5%)
- ✓ 前年同期に計上した移管業務委託収入0.75億円分が減少

営業利益

(単位：百万円)

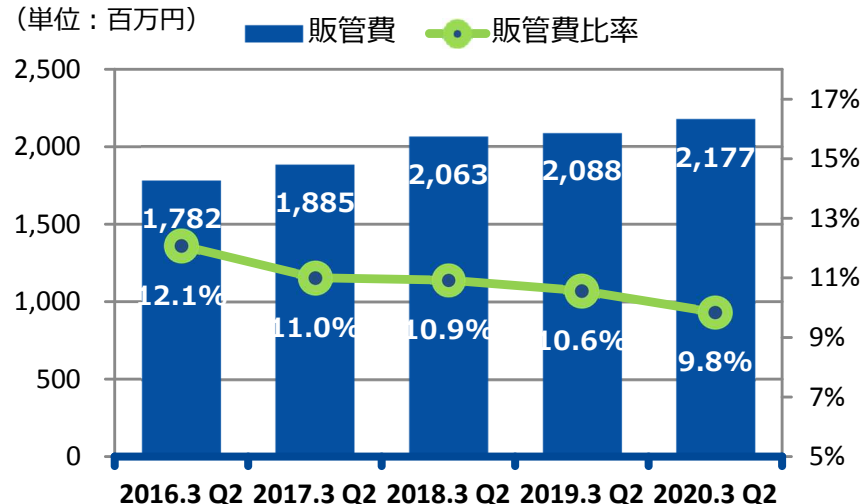
■ 第2四半期 ■ 通期



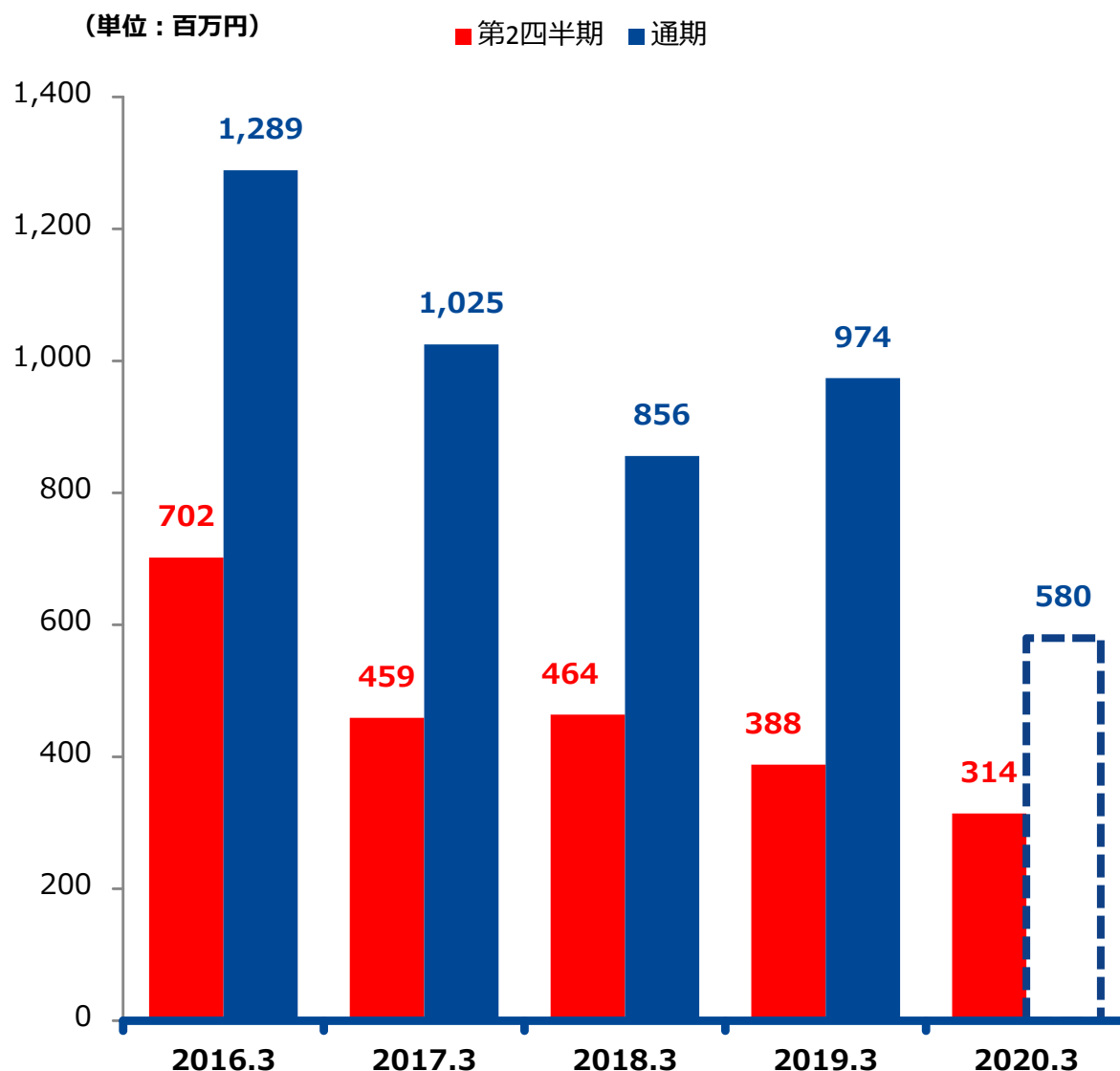
前年同期比**7.1%減**の
4.4億円

- ✓ 販管費が4.3%増加
- ✓ 研究開発費（約60百万円増加）、人件費（約32百万円増加）が増加の主な要因
- ✓ 売上高販管費比率は前年同期比0.8ポイント改善

(単位：百万円)



四半期純利益



前年同期比**19.2%減**の
3.1億円

- ✓ 営業外収益：受取保険金7百万円の計上
- ✓ 営業外収益：デリバティブ評価益11百万円の減少
- ✓ 営業外費用：貸倒引当金繰入額2百万円の計上
- ✓ 特別利益：投資有価証券売却益20百万円の減少

要約貸借対照表 (第2四半期末)

	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末実績 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	18,560	92.2	17,211	+7.8	● 自己株取得等による現預金の減少 (△202百万円) ● 売上債権の増加 (1,030百万円) ● 商品の増加 (621百万円)
固定資産	1,577	7.8	1,426	+10.5	● 営業用資産 (デモ・レンタル機) の取得による増加 (139百万円) ● 繰延税金資産の増加 (18百万円)
資産合計	20,137	100.0	18,638	+8.0	
流動負債	12,631	62.7	10,686	+18.2	● 仕入高増加による買掛金の増加 (2,065百万円)
固定負債	420	2.1	489	△14.1	● 役員退職慰労引当金の減少 (△60百万円)
負債合計	13,052	64.8	11,176	+16.8	
純資産	7,084	35.2	7,461	△5.1	● 四半期純利益による増加 (314百万円) ● 剰余金の配当による減少 (△259百万円) ● 自己株式の取得による減少 (△431百万円)
負債純資産合計	20,137	100.0	18,638	+8.0	

要約キャッシュ・フロー（第2四半期末）

	当期 (百万円)	前期 (百万円)	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	684	430	● 税引前四半期純利益（454百万円） ● 仕入債務の増加（2,065百万円） ● 売上債権の増加（△1,030百万円） ● たな卸資産の増加（△688百万円） ● 法人税等の支払額（△282百万円）
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164	△145	● 有形固定資産の取得による支出（△166百万円）
財務活動によるキャッシュ・フロー	△719	△881	● 自己株式の取得による支出（△431百万円） ● 配当金の支払（△259百万円）
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△202	△589	
現金及び現金同等物の期首残高	5,298	6,095	
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,095	5,505	

2. 業績予想

進捗率

2020年3月期計画（進捗率）

（単位：百万円）

	通期 (計画)	当第2四半期累計（実績）	進捗率 (通期)
売上高	42,948	22,121	51.5%
営業利益	871	446	51.3%
経常利益	871	453	52.1%
当期（四半期）純利益	580	314	54.1%

通期業績予想（売上高）

（単位：百万円）

予想売上高 429.4億円

（前期比6.4%増）

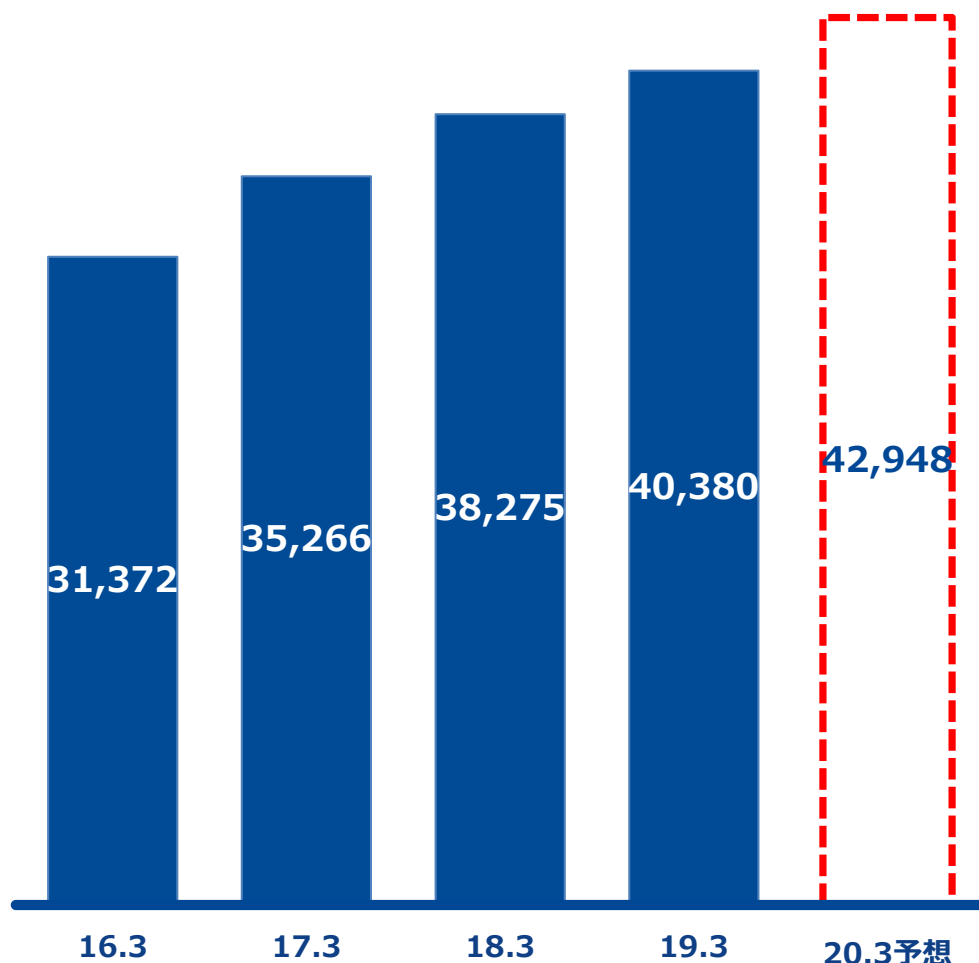
✓既存顧客の深耕、大型施設の獲得

✓営業エリア拡大、全国展開

・ 2019.8長野出張所開設

✓独自商品の販売拡大、新商材の獲得

✓2019年10月に実施される保険償還価格の改定による引下げを見込む（売上全体の約1.5%）



通期業績予想（営業利益）

（単位：百万円）

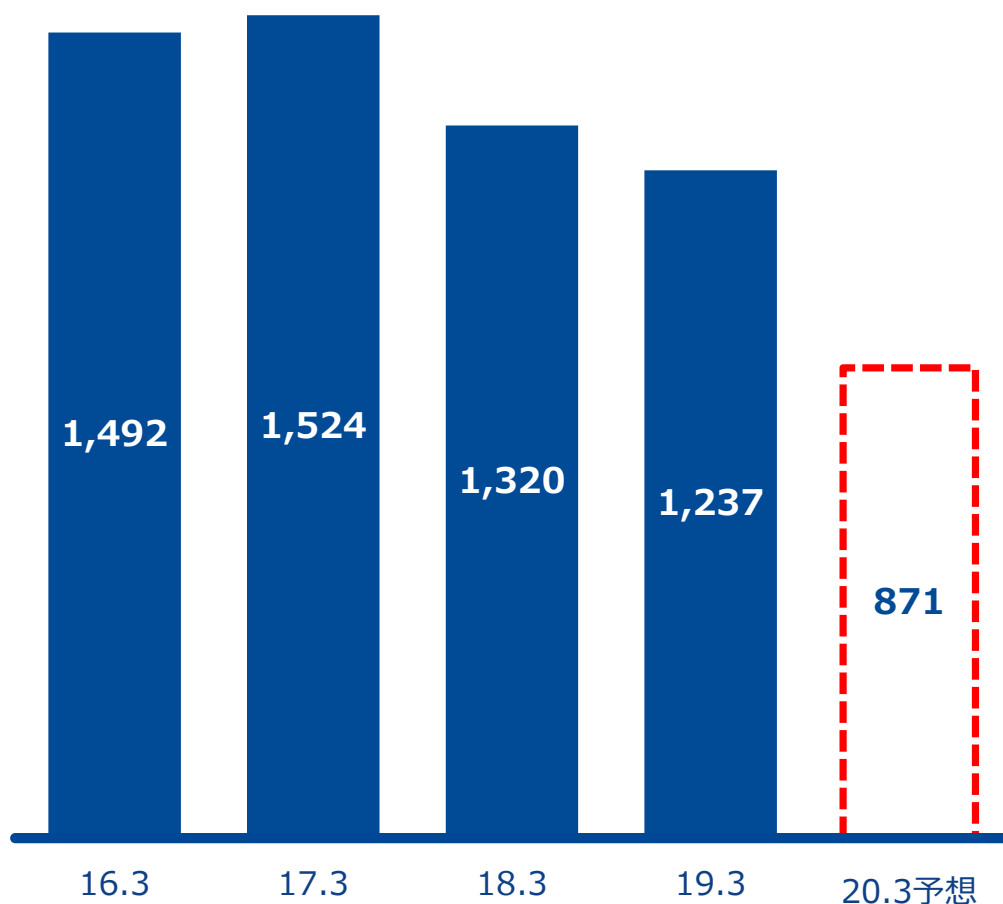
予想営業利益 8.7億円

（前期比29.6%減）

✓移管業務委託収入の減少3.3億円を

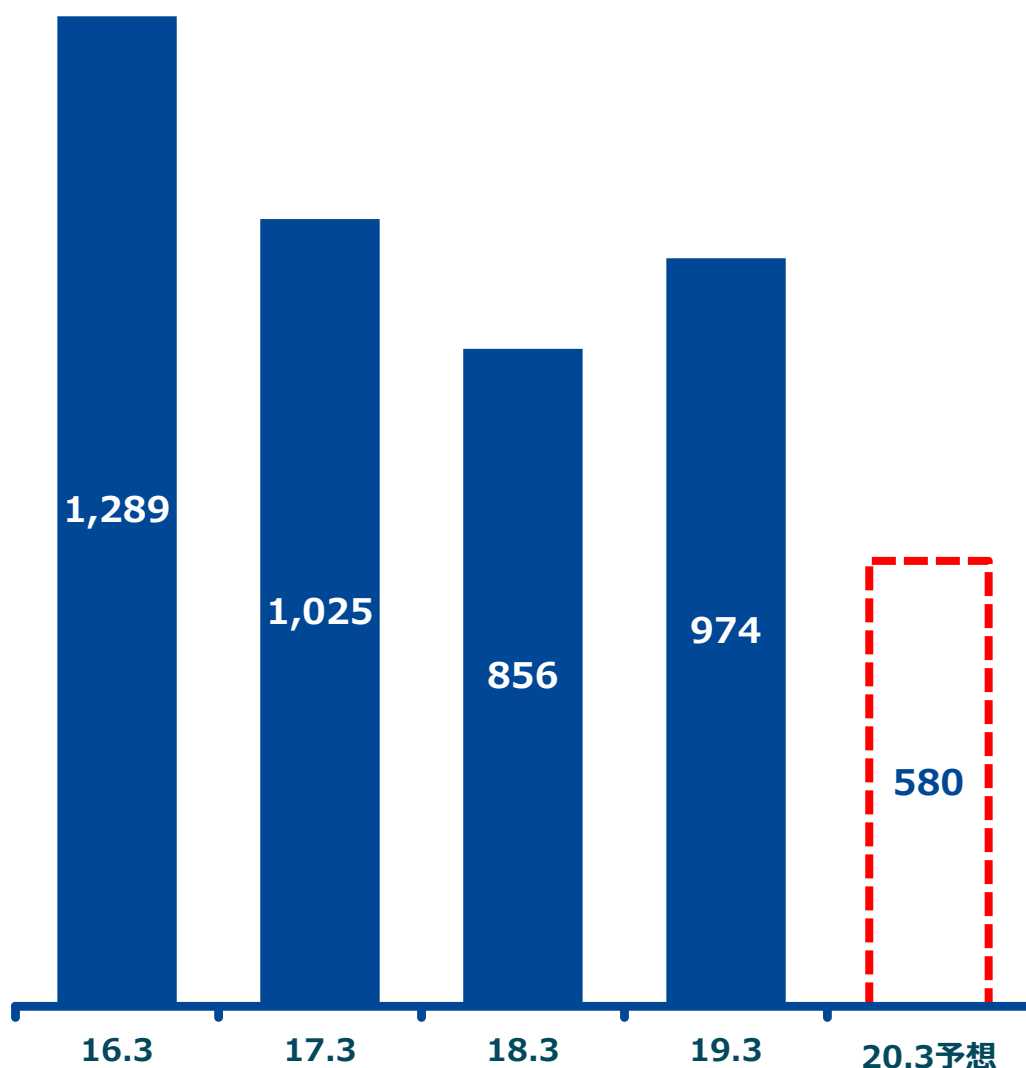
売上増加分で吸収できず

✓人件費、減価償却費など販管費の増加
を見込む



通期業績予想（当期純利益）

（単位：百万円）



予想当期純利益5.8億円

（前期比40.4%減）

予想EPS 55.36円

（前期実績88.46円）

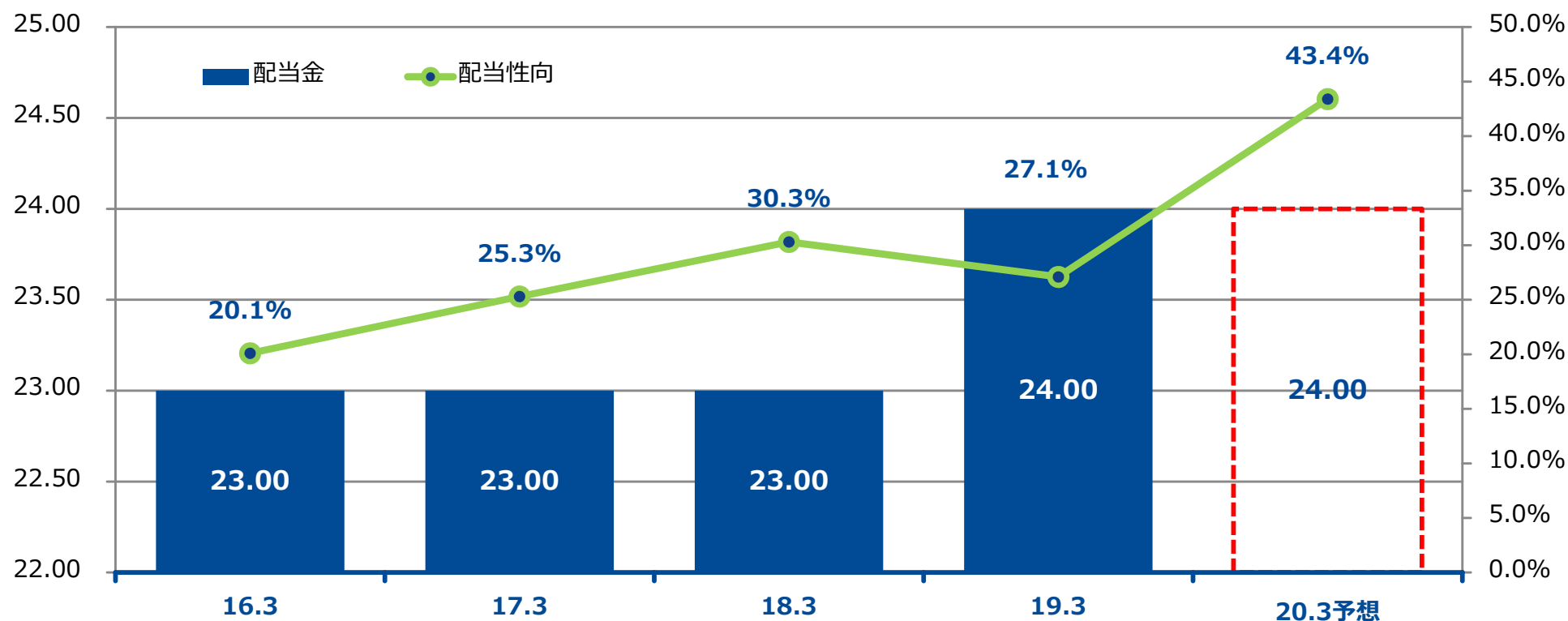
- ✓ 営業利益366百万円の減少
- ✓ 受取保険金78百万円の減少
- ✓ 為替差益14百万円の減少
- ✓ 投資有価証券売却益21百万円の減少

2020年3月期 配当金予想

✓2020年3月期より配当性向30%を目途から
継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを
基本として配当を決定する方針に変更

予想期末配当 24円 (予想配当性向 43.4%)

(単位：円)



 Development
Venture
X (無限の可能性)

■ I R についてのお問い合わせ先 財務経理部



TEL : 03-5985-6832 FAX : 03-5985-6106 U R L <http://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。